

2024年3月25日

関電不動産開発株式会社
株式会社関電アメニックス

**ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん
雄大な北アルプスを望む温泉ビューバス付き30室の新館が
2025年初秋オープン予定**

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、社長：藤野研一）と株式会社関電アメニックス（本社：大阪府中央区、社長：西浦光一郎）は、長野県大町市にて展開するANA ホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん（所在地：長野県大町市平 2020、客室数 73 室、総支配人：森川忍）にて、2025 年初秋に新館及びレストランをオープンすることを決定いたしました。



2020 年に開業した「ANA ホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん」既存棟の北側に新たに天然温泉かけ流しビューバス付きの 30 部屋を備えた新館（地上 3 階、地下 1 階）を 2025 年初秋にオープンすることを決定いたしました。また北アルプスの山々とゴルフ場が一望できるレストランも新たにオープンいたします。

部屋タイプはスーペリアタイプ（仮称）（和洋室・39 m²）、デラックスタイプ（仮称）（洋室・46 m²）、デラックスタイプ（仮称）（和洋室・46 m²）の 3 種類。各部屋には、源泉かけ流しの温泉ビューバスが備えられています。

建設は 2024 年 4 月 5 日より着工し 2025 年夏頃に完成、同年初秋のオープンを予定しています。

デラックスタイプ（仮称）（洋室・46㎡）



スーペリアタイプ（仮称）（和洋室・39㎡）



天然温泉かけ流しビューバス



※掲載 CG は計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。

大町市は、長野県の北西部に位置し、その西側一帯に「日本の屋根」といわれる標高3,000m級の北アルプスの山々が連なり、清冽な雪どけ水が年間を通じて地域を潤し、四季を通じて美しい景色が広がる山岳観光都市です。

また、立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口であり、かつて「世紀の大事業」と言われた黒部ダム建設を支えた大町市は、黒部ダムやアルペンルートの観光はもちろん、登山やトレッキングなど山岳観光ルートに訪れる、国内外からのお客さまの宿泊地となっています。江戸時代、この地は、日本海と松本を結ぶ「塩の道」の中間地点に位置し、交通要衝の地であったことから、街道沿いには、当時の歴史的建物や国宝仁科神明宮をはじめ多くの文化財も残されています。

国内外から大勢のスキーヤーが訪れる白馬村も近く、当ホテルには温水プールやテニスコート、ゴルフ場も併設しており、ご家族そろってゆっくり滞在し、アクティビティや、温泉や食事をお楽しみいただけます。

1. 新館の計画概要

名 称：ANA ホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん

所 在：長野県大町市平 2020

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上3階 地下1階

客 室 数：30 室（全室温泉かけ流しビューバス付き）

延べ床面積：2,330.79 m²

設 計：株式会社竹中工務店

施 工：株式会社竹中工務店（予定）

※新館と合わせてレストランの新設を計画

2. 本ニュースリリース配付先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会、長野県政報道関係、大町市記者クラブ

以 上